

西暦 2018 年 11 月 1 日 第 1 版
(臨床研究に関する公開情報)

承認番号：18006_01JY

城北共立クリニックでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究においてアンケート結果やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。ただし、使用不可を要求された時点で保存データの匿名化が完了している場合には、破棄することができませんのでご了承ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

『当院における高齢透析患者に必要とされる看護師の関わりとは
～アンケート調査を通して分かったこと～』

[研究責任者]

城北共立クリニック 課長 長嶋史子

[研究の背景]

6年前の研究結果から、「看護師は患者個々の生活背景を把握し、他職種と連携を図る役割を担っている。今後も高齢化が進むとされ、透析医療だけでは支えられない問題が増え続けていく事が予想される。」という事が明らかになっている。

現在は、更に高齢化が進み、内服状況やほかの病院での検査の把握、家族とのやり取りなどを行うことが必然となっているのが現状であり、患者に求められるものは増え続けている。そこで、高齢者が抱えている悩みや問題点を明らかにすることで、看護師が患者にできることを検討し、実践できる。

[研究の目的]

高齢透析患者の抱えている問題を明らかにし、看護師として患者の思いに沿った関わりができるようになる。

[研究の方法]

●対象となる患者

2018年4月1日時点で当院に通院されている65歳以上の透析患者さん

●研究期間：2018年11月29日から西暦2019年6月30日

●利用する患者の情報

2018年5月30日～6月13日に行った

「透析患者の日常生活に関するアンケート調査」の結果

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第64回日本透析医学会学術集会・総会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

医療法人社団 偕翔会 城北共立クリニック

〒420-0805 静岡市葵区城北 111-1 電話：054-249-2555

看護課長 長嶋史子